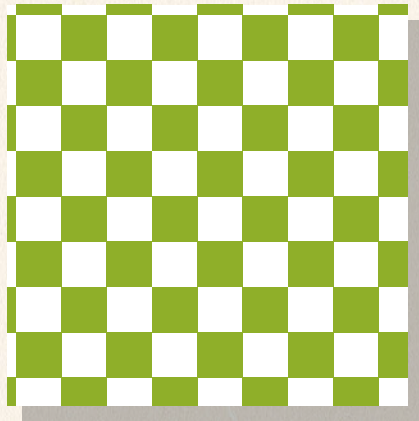


いち まつ 市松



正方形を交互に並べた文様。
歌舞伎役者、佐野川市松が袴
に用いた。



さんだい いち まつの がわい ちまつ ぎ おん
三代目佐野川市松の祇園町の白人おなよ 重
[錦絵/1749年]
とくしやうさいしやらく
東洲斎写楽[生没年不詳]
東京国立博物館
出典: ColBase (<https://colbase.nich.go.jp/>)

畳
縁



提
灯

正方形や長方形を格子状に並べたデザインは、上下左右に途切れるこ
となく永遠に続き、終わりのないイメージから「永遠」「繁栄」を意味し
ます。